

## 議 事 録

会 議 名	平成29年度 第1回寒川町生涯学習推進会議		
開 催 日 時	平成29年7月7日（金） 午後1時00分～2時50分		
開 催 場 所	寒川町役場 東分庁舎2階 第2会議室		
出席者名、 欠席者名 及び 傍聴者数	出席者：和田委員、八ツ橋委員、木村委員、恵羅委員、内野委員、三澤委員、 菊地委員、高橋委員 欠席者：吉田委員、平本委員 事務局：常盤副町長、中島町民部長、芹澤協働文化推進課長、 木下協働文化推進課主査、白井協働文化推進課主事 傍聴者：2名		
議 題	報告事項 (1)「寒川 学びプラン」平成28年度事業報告について (2)「寒川 学びプラン」平成29年度実施計画について		
決 定 事 項	○議事録承認委員は、会長及び副会長が務めることを確認。		
公開又は 非公開の別	公 開	非公開の場合その 理由（一部非公開 の場合を含む）	
議事の経過	<p>1 開会 芹澤協働文化推進課長</p> <p>2 委嘱状交付 本年度より2年の任期で全委員を新たに委嘱</p> <p>3 あいさつ 常盤副町長</p> <p>4 各委員及び職員自己紹介（資料1）</p> <p>5 「寒川 学びプラン」及び寒川町生涯学習推進会議について（資料2、3、4） 「寒川 学びプラン」の概要及び寒川町生涯学習推進会議設置要綱について 事務局より説明</p> <p>6 会長、副会長の選出 委員の互選により、三澤委員を会長に、恵羅委員を副会長に選出。</p> <p>7 議事録承認委員の指名 承認委員は三澤会長、恵羅副会長が務めることに決定する。</p> <p>8 報告事項 (1)「寒川 学びプラン」平成28年度事業報告について（資料4、5、6） ・資料5、6について、事務局から説明 資料5「寒川 学びプラン」平成28年度事業報告は、第3期実施計画に基づき、平成28年度に実施した事業について、各事業担当課がその実績を報告したものを取りまとめたもの。 この事業報告について不明な点等を確認していただき、委員の皆様からご意見を伺い、評価をし、その後、町民へ公表するという流れになる。 第3期実施計画では、町の生涯学習をより推進していくための取り組み方針と重点事業を設定している（資料4の第3期実施計画8ページ参照）。取り組み方針として「1 情報提供体制の充実」、「2 個別の課題に対応する学習</p>		

機会の充実」、「3 生涯学習に参加しやすい環境づくりの推進」の3つ、方針それぞれに重点事業として、全84事業の中から5事業を設定。確認いただく際は、特に、この重点事業5事業を中心にご意見等をいただきたい。

- ・第3期実施計画の進行管理の仕方について委員へ確認。  
第2期までは、プランの進捗状況を確認するため、毎年度の実施状況報告を取りまとめていたが、事業内容の報告にとどまっていた。第3期からは達成度評価をはかる目標指標を設定し、プランとして計画、実行、評価、改善という、いわゆるPDCAサイクルが行える構造とした。  
今後は、毎年度の事業報告を評価する方法として、この会議でのご意見等を事務局で集約したもので推進会議の評価の案をつくり、次回の会議でその案をご確認いただき、委員の皆様へ評価としてまとめ上げていただくという流れで、進めていくことで、了承を得る。
- ・「寒川 学びプラン」平成28年度事業報告（資料5）の項目等について説明。  
「NO（ナンバー）」： 第3期実施計画全事業の連番（1～84）。  
「事業名、事業内容」：  
実施計画84事業の名称、その内容。事業内容については、第3期実施計画期間（平成28年度～32年度）5年間の内容を記載。  
「28年度実行計画」：  
第3期実施計画期間5年間のうち平成28年度の実行計画。毎年度当初に各事業担当課が提出する。  
「28年度事業報告」：  
28年度実施状況、目標指標、目標数値、実績値、H28評価からなる。  
「H28評価」：  
目標数値に対する実績値の割合によって、ABCDの区分を記載する。  
区分を分ける基準については、資料6「寒川 学びプラン」平成28年度事業報告事業実施状況の概要の[評価方法]のとおり。  
「事業の成果・課題等」：  
各事業担当課が平成28年度事業を実施した中での成果と課題を報告したもの。  
「担当課」： 事業実施の担当課名。
- ・28年度事業報告を基本計画の節ごとに説明し、委員の意見等を確認する。  
節ごとの評価（ABCD区分）の状況は、資料6（事業実施状況の概要）の[評価の結果]を参照。

#### 第1節 情報提供体制・相談体制（事業NO. 1～4）

第3期の取り組み方針1に設定している。住民の学習意欲に応え、自主的で自由な学習活動を支援するためには、多様な学習情報の提供や学習相談体制の整備が重要となる。

- ・事業NO. 1 生涯学習関連事業の情報提供（重点事業①）  
町で行う町民向けの講座・教室などを取りまとめた「さむかわ町民大学」、その内、幼児・青少年向けのものを「さむかわゆうゆう学園」として、町公共施設へ年2回程度配架。参考資料1（さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド 講座・イベントスケジュール）参照。
- ・事業NO. 3 生涯学習情報紙の発行（重点事業②）  
生涯学習を始めるきっかけとなるよう講座や制度の情報を取りまとめた「さむかわ生涯学習総合案内」を発行。参考資料6（さむかわ生涯学習総合案内）参照。  
子ども向けの生涯学習情報紙「すきっぷ」を、年4回、町内の幼稚園、保育園、小学校へ配布、町公共施設に配架。参考資料7（「すきっぷ」）参照。

- (委員) 生涯学習推進員3年、今度で4年目になるが、ここでこういうことがきちんとこういうふうに行われていたということ、全く情報がなかった。
- (事務局) 学びプランは、平成18年度から生涯学習推進ということで進めてきたが、プラン策定当時は全部で270を超える事業があり、この推進会議でも、全部を皆様にお目通しいただき、ご意見を伺うのは難しく、また、何をやるか、何をしたという、事業のソフトの部分が中心のプランだった。そこで第3期の実施計画をつくるにあたり、中心的になるような事業、84の事業に絞り込み、予定、目標を立て、実施するという形に見直しをした。  
見直しをした最初の1年目、28年度の事業報告は、これまでと違う形で、実施内容、目標に対する実績、事業担当課の自己評価、A B C Dで示す実績の程度、事業を実施した中での成果や課題を、各事業担当課で記載をしたものを取りまとめている。委員の皆様から、こういうところはもうちょっと力を入れたらどうか、こういうところはこういうふうに変更したらどうかというご意見や評価をいただけたらと思う。
- (会長) 事業No.1(生涯学習関連事業の情報提供)の平成28年度の目標数値である講座、教室等の総事業数は150件だが、実績は136件と達していない。その理由は何か。また、平成29年度の目標数値も150件としているが無理をしていないか。
- (事務局) 各公民館や各課で実施している生涯学習に関連する教室や講座を、これまでの実施状況、年間の実施講座数・教室数などをもとに、年間150件という一つの目標として掲げている。28年度は目標に対して若干90%を超える件数だったが、29年度は、やはり150件開催できるように、各担当課で取り組んでいっていただきたいというふうには考えている。
- (副会長) 何年も前から見返すと、当初は何をどう見て良いか分からなかったが、大分整理されて、PDCA、目標値を立てて数値化をするというのは大変分かりやすくなって、かつ次の年につながる形で改善はされていると思う。少し疑問なのは、数値化できないものもあるのではないか。
- (事務局) 講座の参加者数を指標にしているケースでは、例えば50人という目標に対して、実際には30人が参加したとなると、割合が60%なので、評価としてはCになる。しかし、講座を実施した際のアンケート調査で、30人全員が非常に良かったという評価をしている講座等もある。そのような場合は、「成果・課題等」の欄に、担当課として、参加人数は指標を達成できなかったが、参加者の満足度が非常に高い講座だったということに記載し、そこも含めて委員の皆様にご評価をいただきたいと考えている。
- (副会長) 事業No.3(生涯学習情報紙の発行)の目標指標は情報紙の発行回数にしている。発行回数は頑張ればできることで、指標として不適切なのではないか。全体として同様のものが目につく。発行したものに対して、反響がどうだったかということ、その辺は難しいかもしれないが、その事業が有効だったかということが分かる別の数値を探してほしい。
- (事務局) 例えば情報提供については、その情報がどれだけ到達したかをはかるには、そのための調査や経費が必要になることもあり、事業としてどれだけ投入したかを物差しにしている。ここで中間見直しをするので、今のようにご意見をいただきながら、指標については担当課も含めて検討していければと思う。
- (会長) 「町民大学・ゆうゆう学園ガイド」、「すきっぷ」は分かりやすく、「す

きっぷ」は子ども達がとても楽しみにしている。「さむかわ生涯学習総合案内」は少し工夫が必要かもしれないが、ページが多くても大変だし、難しいところだ。

### 第2節 ライフステージごとの学習（事業 No. 5～21）

人が成長する各段階（ライフステージ）に応じた学習機会の充実を図るための事業。乳幼児、青少年期から始まり、高齢期まで、それぞれの段階で必要な内容の講座、教室等を実施している。

事業の実施状況は、全17事業中、評価A「達成した」が14事業、B「おおむね達成した」が3事業。

(委員) 目標数値はどこで決めたか。例えば、事業No.8の子育て支援センター事業は、目標が12,250人で、実績は9,000人と少しだが、次の年も12,500人となっている。目標を達成すれば良いとか悪いとかという問題ではないかもしれないが、どのように設定しているか。

(事務局) 目標数値は、担当課が、今までの実績の平均や、今後目指しているところを含めて検討した数値を設定している。子育て支援センター事業の指標である子育て支援センターの利用者数の目標数値は、子ども・子育て支援事業計画の中で利用者推計として出している数字を設定している。

(会長) 子育て支援センターの利用者は減っているのか。子どもが少ないということなのか。

(委員) 利用者は減っているが、子どもが少ないというよりも、事業の成果・課題等の欄にあるように、幼稚園のプレ保育で2歳児から3歳児が増えている。1歳代からプレ保育を考えている方が多く、そちらに行くと、支援センターへの来場がなくなると聞いている。今9,000人台なので、数が多いから良いということでもないと思うが、今後、この目標設定がどのようになっているのかと思う。

(事務局) 社会状況、保育環境の変化もあると思うので、子ども・子育て支援事業計画の見直しに合わせて、学びプランも見直しをしていきたい。

(委員) 事業No.11（「生きる力」育成事業）、12（「地域のせんせい」ふれあい推進事業）について、学校現場としてはありがたいと思っている内容。評価の指標については、検討、見直しもあるということだが、事業の成果・課題のところは、数値に表れない部分というところもあるので、参考にしながら反映させていただきたいと思う。

(委員) 今、学校は個別支援に力を入れているが、そこに人をどうやって充てていくかというところで、「地域のせんせい」ふれあい推進事業は非常に助かっているところがある。

### 第3節 分野ごとの学習（事業 No. 22～53）

取り組み方針2に設定している。社会環境が急速に変化し、生活課題や学習ニーズが多様化している中で、時代の要請に対応した学習メニューや学習の場、機会の充実を図る。事業No.22社会教育振興事業を重点事業に設定している。

実施状況としては、全32事業中、A「達成した」が26事業、B「おおむね達成した」が3事業、C「達成できなかった」が2事業、D「実施できなかった」が1事業。

(会長) 目標として、人づくりを重点にプランを立てたということだったが、十

何年と同じような内容の講座がある。変わらなくて良いものもあるが、時代に即さないものもあり、もっと取り入れた方が良いものもあるのではないか。参加者が多いから良いというものでもないし、質の問題だと思う。あと、趣味的なものがとても多い。講座を開催した時に、人づくり、生きがいづくりとなり、その後、サークルになっていくような支援をすれば、町も活性化するのではないか。受け身の講座に参加するだけでなく、自分たちでサークルをつくって、自分たちで講師も探す、いつも行政におんぶにだっこではなくて、主体性を持った人づくり、サークルづくりにしていくと良いと思う。

(委員) 南部公民館では、例えば料理教室で、地域の方あるいは講座の担当者の知り合いやその周りにいる人たちが参加しており、いつも同じメンバー。新しく参加した方は2人ぐらい。知っている方に知っている方への声かけをお願いするような人脈をつくっていて、それがマンネリを生むのではないかと感じた。

また、北部公民館、南部公民館、町民センター、それぞれの催し物を比較しながら、あそこは幾つかやっているけど、ここはこれしかないから、もうひとつ増やそうか、といった安易なところもなきにしもあらずというか。生涯学習推進員会議では、他の公民館事業を精査しながら、重複しないようにしようとか、これは良いからこちらもそうしようといった意見はわりと出るが、やはり従来こうしていたのだから従来どおりにしようとなっていく可能性はある。新しいものを取り入れていくことが、難しくなってきたと思う。

(会長) 北部公民館で、10年近く前にクリスマスコンサートをやったが、未だにやっていて、講師も同じ。地域の人たちにも公平性、つまり、いろいろな音楽があったり、違う先生でも良いのではないか。推進員の質が問われる。人づくりを重点にしていくのであれば、推進員にも、講座を組む時にそういう意識がないといけないと思う。人づくりをしていきたいと思います、町全体の考えを推進員にも持ってもらうような研修会をしていただきたいと思う。

(委員) 文化連盟に属しているが、7月29日、30日で「青少年文化ふれあいデー」を開催する予定。子どもたちに町の文化を知ってもらうという計画で、各学校の先生方、保育園等にもご協力をいただいている。なるべく若い方に参加をしていただき、これからの文化を支えていっていただきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

(事務局) 社会教育振興の部分については、社会教育関係の講座や教室の企画、立案の部分に見直しが必要ではないか、そのための人材育成、生涯学習推進員向けの研修実施、また、町民のニーズに合った講座の内容の見直しをしてほしいというご意見をまとめて、次回提示をさせていただきたいと思うが、それでよろしいか。

(副会長) 事業No.22(社会教育振興事業)の目標数値である公民館における年間実施事業数について、公民館のキャパシティで、稼働率的に100件というのは、どのぐらいか。

(事務局) 1講座で連続何回講座というものもあるので、講座数としては100件だが、実施回数はそこそこの数かと思う。目標数値の100件は、実績や今後の実施計画をもとにしている各公民館の事業計画の講座数を集計したもの。

(副会長) 平成28年度評価はBだが、あまりB評価がつくのは良くない。目標数値が不適切ということはある。目標数値は理想ではなく、実現する

為のリアルな数値でやるのが本来ではないか。理想は理想で、また別にもっと大きな目標で掲げればいいのではなか。

事業No.27（学習成果発表の場の提供）の目標数値、ホール・展示室の年間貸出数は1,500回だが、こんなにあるのか。

(事務局) 例えば、ホールは1日貸し出しや、半日貸し出しがあったり、展示室はいくつかある部屋をそれぞれ貸し出しするため、年間365日で1,500回を目標としている。各公民館に講座事業計画があり、その数値を設定している。

(委員) 「学びプラン」の事業全部を、この推進会議委員でこの時間で見るということが、そもそもおかしいのではないか。計画の段階から携わっていないと意味がないのかなと思う。

(会長) 年間2回の会議で、というところで難しいのかと思う。

#### 第4節 学習成果の活用（事業NO.54～59）

学習の成果が生かされるよう、その仕組みや支援体制を充実していくための事業。

実施状況としては、全6事業中、A「達成した」が6事業。

##### ・事業No.54 生涯学習人材登録制度の拡充

地域や技能等を持っている方が登録し、学びたいという意欲のある方に講師やアシスタントとして紹介する制度。参考資料5（寒川町生涯学習人材登録制度ステップ・アップ登録メニュー紹介）参照。

(委員) ステップ・アップの登録者は37人だが、この制度を活用して、講座等を実施している方は年間何人くらいか。

(事務局) 制度を広く知ってもらうために、町が支援してPR講座を開催したものは、昨年度で4回。それ以外で、受講したい方が、直接講師へ連絡をして開催している講座があるが、その件数は把握できていない。町への制度に関する問い合わせ件数は多くはない。

(会長) 各公民館でステップ・アップ登録者を講師として講座を開催するような事業はあるか。なるべく地域の先生方を活用してほしい。

(事務局) この制度の中ではないが、紹介はできる。いろいろな団体にチラシを配布し、PRはしている。また、「地域の先生」にも登録している方は、学校で活用していただいているケースもある。

(副会長) 登録の有効期限は1年か。

(事務局) 最長で2年間。

(委員) 登録人数は増えているのか。

(事務局) 新規の登録もあり、登録を抹消する方もいて、例年大体同じ程度の人数。

#### 第5節 参加を支える環境の整備（事業NO.60～84）

取り組み方針3に設定している。生涯学習を総合的に推進するため、住民の学習意欲を喚起し、学びの幅を広げる取り組み。地域の特性を生かした事業展開により、地域での交流を深め、さまざまな関係機関と連携した学習支援体制を充実

することにより、学習機会の選択肢を増やし、学びに参加しやすい環境づくりを進める。事業No.6 1 地域生涯学習推進員組織体制の充実と事業No.6 3 県・各自治体・専門機関との連携を重点事業に設定している。

実施状況としては、全25事業中、A「達成した」が14事業、B「おおむね達成した」が6事業、C「達成できなかった」が5事業。

(会長) 事業No.6 5 (高校、大学等の教育機関との連携)の文教大学の講師による講座の開催は、内容、テーマが良いと思ったが、参加人数が14名、13名で、さみしいと思う。人集めが難しい感じがする。大学の先生から報告はないか。

(副会長) 学内では報告は受けてないが、話は知っている。

(会長) 他になれば、質疑を終了する。  
皆様からのご意見を踏まえて、今後の事業を進めていただきたいと思います。

(2)「寒川 学びプラン」平成29年度実施計画について(資料7)

・資料7について、事務局から説明

資料7「寒川 学びプラン」第3期実施計画(前期)平成29年度実行計画は、3月に開催した平成28年度第2回推進会議で報告し、既に各担当課で今年度の事業を進めているが、その後、一部計画を変更した事業があるため報告。

事業No.7 6 (学校体育施設の有効活用)

目標数値の修正。算出根拠の元になる利用可能コマ数を変更したことによる修正。1日に午前、午後、夜の3コマだったものを、1コマ2時間単位に変更したため、利用可能コマ数が増え、目標数値も増えた。町総合計画実施事業のため、総合計画も同じ修正をしている。

(副会長) 事業No.3 4 (スポーツボランティアの育成・活動促進)は、平成28年度はD評価だが、実施はしているのでC評価ではないか。実施したが、成果が出ない状況で、平成29年度計画にも平成28年度と同じような目標数値と事業予定が書いてあるのはおかしい。

(事務局) スポーツボランティアを導入している自治体が少ない中、町ではやっていると考え、実施している事業。担当課では、スポーツボランティアの登録をしていただくために、今後、例えばスポーツイベントごとにボランティアを募る等、体制を検討し、この事業を継続していく方向で考えている。

(副会長) 目標数値のボランティアの登録者数を50人ではなく、例えば、今年は1つのイベントに絞って10人くらい集まって、一歩進めるというふうにしてはどうか。昨年度50人を目標にして実績が0だったものを、次年度に50人にするのは、工夫をしても難しい。

(事務局) 今年度は既に事業を開始しているので、基本的には数値の変更をしていないが、ここで中間見直しをするので、第3期実施計画の後期からの目標数値は、実状に合ったものを検討するよう伝える。

(委員) 情報提供の充実について、事業No.3 (生涯学習情報紙の発行)で、情報を提供するという目標を定めた理由は、回数は発行するから定めたのか、周知徹底をしたいから発行回数を増やすという手法をとっているのか。目的がどこにあるのか。発行回数だけを増やせば良いというのでは無駄だと思う。情報紙を見てもらって、事業、イベント等に参加してもらうために、中身を精査する等した方が良いのでは。事業No.1 (生涯学習関連事業の情

報提供)で、年2回の情報紙で150回分の講座を出すという無茶な計画は出ないのではないかと。

(事務局) まず生涯学習を始めようには、情報が得られないと始められないため、始めようきっかけづくりとして、情報提供体制、相談体制の充実に取り組んでいる。情報紙の発行の事業で目標数値を決めるにあたって、何回発行すれば良いというものではないが、数値で把握できるものが発行回数以外になかなかないというところもある。情報紙の内容や配布の場所等を工夫するよう努めていきたい。

(副会長) 配布部数や配布箇所数はどのくらいか。そちらの方が大事かもしれない。

(事務局) 「すきっぷ」は、各幼稚園、保育園、小学校に配布し、ひとりひとりに行き渡るような形で配布。1回につき合計5,000部。

「生涯学習総合案内」は、各公民館、図書館、体育館等公共施設に配架。年1回、合計で200部。各施設の在庫がなくなれば追加で随時配架。

その他、町ホームページでもその内容を公開している。

「生涯学習総合案内」は、いつ頃どんな講座があるという全体が分かる概要を、ニーズがあるため掲載している。また、各種制度の内容も簡単に掲載している。分厚い案内だと手にとってもらえないため、気軽にとっていただけるボリュームのものにしている。具体の個々の講座の募集や制度については、町ホームページや毎月発行している広報さむかわに掲載している。

(委員) 広報誌について、展覧会や展示会のお知らせの掲載をお願いしても、事前連絡がなく掲載されないことがあったという話を聞いた。町民全般に行き渡るものなので、なるべく紙面を充実していただきたいと思う。

(事務局) 掲載されなかったのは紙面の都合かと思うが、依頼者は期待しているので、掲載できないのであれば、事前に伝えないといけない。

(副会長) 参考資料6(「さむかわ生涯学習総合案内」、7(子どものための生涯学習情報紙「すきっぷ」)は現物か。「さむかわ生涯学習総合案内」は、もう少し厚いか。年始めに、こんなことを今年やるというアナウンスをするのだから、ボリュームはこの程度で良いかと思うが、もう少し派手な方が良い。お金もかかることなので大変ではあるが。

(事務局) 「さむかわ生涯学習総合案内」の実物は、カラーペーパーに印刷している(会議資料は再生紙に黒印刷)。「すきっぷ」は現物(再生紙に青印刷)。厚さは大体同じ程度。

(委員) カラーでなくても、広報紙に挟んで各家庭に配布してはどうか。

(委員) 各家庭に配布しても読まない人が多くいて、広報に掲載したものを知らない、見たことがないという人が結構いる。

(事務局) 全戸配付は、いろいろなものに取り組んでいるが、配布用の経費と2万部の配付物を作成する経費がかかり、相当な金額になる。認知度がなかなか上がらないというところで、費用対効果を考えて、今、全戸配付するものも精査している状況。

## 9 その他

- ・平成28年度さむかわ町民大学実績の報告(参考資料2)

平成27年度と比較すると、参加者数が減少。先日、事業担当課の課長級の会議

	<p>で、参加者アンケートの実施やアンケート結果を反映した講座内容の工夫等をし、ニーズに合う講座を実施するよう伝えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度「さむかわ出前講座」事業実績の報告（参考資料3、4）</li> </ul> <p>団体からの申請で、職員が学習会などに出向く制度。平成27年度と比較すると、実施回数、利用者数ともに増加。団体からの要望を受け、担当課と調整し、もともと出前講座のメニューにはない講座も開催した。</p> <p>10 閉会 惠羅副会長</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1 平成29・30年度寒川町生涯学習推進会議委員名簿</p> <p>資料2 寒川町生涯学習推進会議設置要綱</p> <p>資料3 「寒川 学びプラン」概要版</p> <p>資料4 「寒川 学びプラン」第3期実施計画 前期（平成28年度～平成29年度）</p> <p>資料5 「寒川 学びプラン」平成28年度事業報告</p> <p>資料6 「寒川 学びプラン」平成28年度事業報告 事業実施状況の概要</p> <p>資料7 「寒川 学びプラン」第3期実施計画（前期）平成29年度実行計画</p> <p>参考資料1 平成29年度さむかわ町民大学・ゆうゆう学園ガイド 講座・イベントスケジュール（6月～9月）</p> <p>参考資料2 平成28年度さむかわ町民大学実績集計</p> <p>参考資料3 平成29年度さむかわ出前講座 学習メニュー</p> <p>参考資料4 平成28年度さむかわ出前講座事業実績</p> <p>参考資料5 寒川町生涯学習人材登録制度ステップアップ登録メニュー紹介（平成29年度版）</p> <p>参考資料6 平成29年度版さむかわ生涯学習総合案内</p> <p>参考資料7 子どものための生涯学習情報紙「すきっぷ」</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>・三 澤 米 子      ・惠 羅 博</p> <p style="text-align: right;">（平成29年12月8日確定）</p>